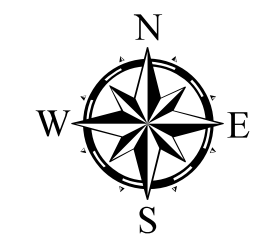
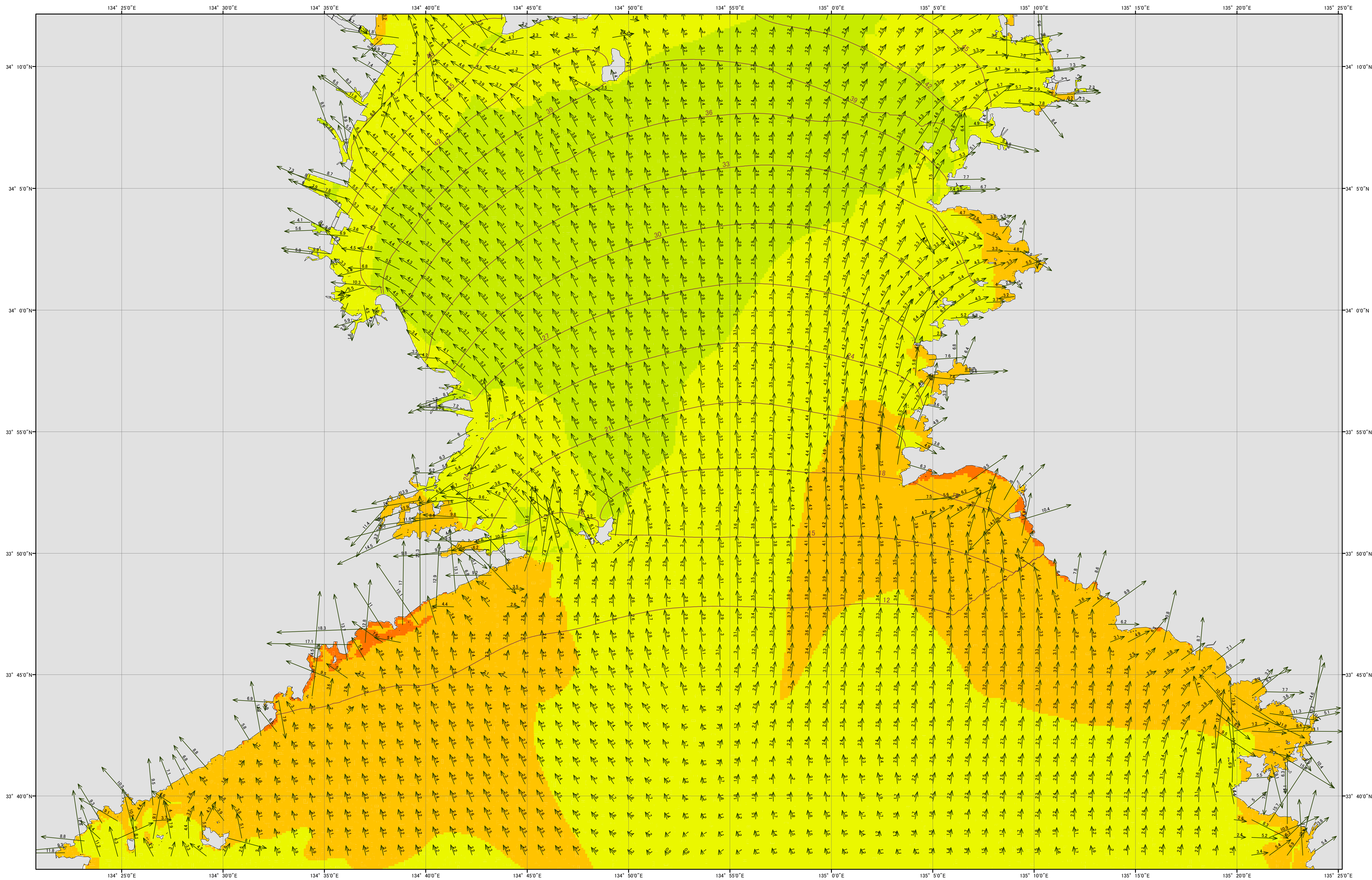


紀伊水道南部 広域津波防災情報図 (進入図)

計算条件： 最高水面（零位）
 隆起量： 平均 -1.14m (-2.02m ~ -0.22m)
 Zo： 1.10m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：MGRS
 投影法：メルカトル法
 基準系：世界測地系(WGS84)



凡例

—— 水位(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

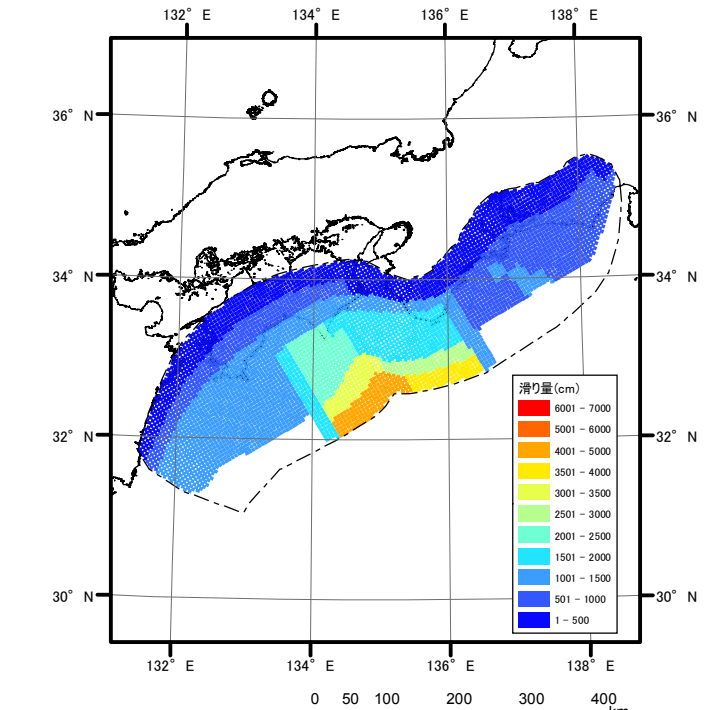
- 10~最大16.8m
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満

進入時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル

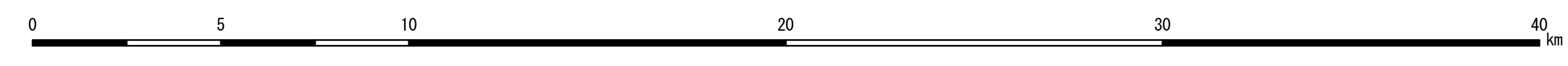


ケース③「紀伊半島沖～四国沖に『大すべり域+超すべり域』」

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 × 10 ²⁷
平均すべり量 D (m)	10.9
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ（標高）及び10mメッシュ（標高）（国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日）



作成機関：国土交通省 国土院 防災情報部
 制作年度：平成24年2月
 制作者：佐藤 誠
 更新年月：平成24年3月